

Update the Value Standard

早川浩士

(有) ハヤカワプランニング
代表取締役

新しい生活様式

5月4日、専門家会議が提言した「新型コロナウイルスを想定した新しい生活様式」(※1)は今後の国民生活の指針になるとして、「コロナの時代の、新たな日常」を一日も早く作り上げなければならぬ」と、安倍晋三首相(※2)

ら、「感染はあいつのせいだ」と攻撃することや、人と人が傷つき合う末に起きる社会の分断を戒めている(※2)。
また、コロナ禍に揺らぐ現代社会を見透かしたかのようなカミュの名著『ペスト』が注目されている。突如ペストの猛威に晒され、感染拡大阻止のためロックダウン

相はウイルスの存在を前提にした社会のあり方を示した。また、「日常生活において、このウイルスの特徴を踏まえ、密閉、密集、密接、3つの密を生活のあらゆる場面でする限り避ける」などの徹底を呼びかけた。
世界的なコロナ禍の蔓延とその終息が見通せないなか、誰もが個

人の力では抗えない不条理な非常の状態を強いられる。今は、一人ひとりが未曾有の非日常を日常とする暮らし方を受け容れ続けるしかない。
とは言い、見えないウイルスへの不安と苛立ちから感染者や医療・介護従事者とその家族に向けた「コロナ差別」による誹謗・中

傷、休業要請や外出自粛の求めに応じない人々に私的に自粛を強いる「自粛警察」と呼ばれる過激な行動を起こす人たちなど、看過できない社会問題が現れた。
日本赤十字社は、アニメ動画「ウイルスの次にやってくるもの」をホームページに公開。恐怖感に基づき過剰な防衛反応か(※2)

ウイルスの次に やってくるものに備えよ

Profile

はやかわ・ひろし ● 経営コンサルタント。「継承と人財創造塾」主宰。『介護ビジョン』編集委員。介護福祉教育マスター。著書に『データ徹底分析介護事業の最新動向と経営展望』、『99の言葉の杖』(いずれも日本医療企画)、『介護保険改正に勝つ! 経営』(年友企画)など。本誌にて『経営(継承)のツボ』を創刊から200回(16年8カ月)連載

www.hayakawa-planning.com

(都市封鎖)が行われ、現実逃避を続ける人々と、増え続ける死者、拡大の一途を辿る災禍のなかでの人間模様などが参考になる。
緊急事態宣言にみる日常と非日常の逆転を経験した私たちは、コロナ禍の終息を見据えた新たな社会と経済活動、ライフスタイルのあり方を踏まえた未来への展望が

不可欠である。介護業界も然り。
スタンダード・プリコーション
梅雨や台風による災害が起きやすい出水期(しゅすいじ)を迎えた。東日本大震災や熊本地震の際、被災地ではノロウイルスの集団感染が起きた。自然災害と感染症などによる多元的複合災害が避けられない状況だ。

スタンダード・プリコーション(標準予防措置策)の原則に基づき、感染リスクを減少させる予防策を日常的に遵守しつつ、新型コロナウイルスの脅威から自身と大切な人を守るため、確かな情報に触れながらも「正しく恐れる」とした賢明な行動が求められる。天命(あまのめ)に安じて人事(にんじ)を尽くす。

※1 「新しい生活様式実践例(厚生労働省ホームページ)」(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html)

※2 「ウイルスの次にやってくるもの(日本赤十字社ホームページ)」(<https://www.youtube.com/watch?v=rNuiKVDn4>)